

九州電力株式会社
川内原子力発電所第1号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第2003197号99

成績書管理番号：06

令和3年10月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：06

- 1 発電所名 九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和3年10月28日
至 令和3年10月29日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	原発本第224号 (令和2年3月19日) 原発本第26号 (令和2年4月7日) 原発本第108号 (令和3年9月30日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：06

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和3年 10月28日 10月29日	良	須貝 実 平沢 淳	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted] 電気主任技術者 [Redacted]	なし

九州電力株式会社川内原子力発電所第 1 号機
使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：06

検査年月日：令和 3 年 10 月 28 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号: 06

検査年月日: 令和3年10月28日

検査場所: 九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会*1 記録確認*2	◎良・—	

*1 確認日: 10月28日及29日

*2 確認日: 10月28日

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：06

検査年月日：令和3年10月28日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 非常用発電装置 内燃機関 機関 調速装置及び非常調速装置 内燃機関に附属する冷却水設備 燃料デイトンク又はサービスタンク 発電機 発電機 励磁装置 保護継電装置 原動機との連結方法 (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
外観検査 絶縁耐力検査 機能検査 警報検査 インターロック検査 系統性能検査 容量確認検査 性能検査 運転性能検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認※2
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※1)による。 ※1 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN1-5-81-02-f ※2 検査対象のうち緊急時対策所用発電機車(1,2号機共用)の予備について確認。 また、緊急時対策所用発電機車(1,2号機共用)の予備以外の警報検査及びインターロック検査について、添付資料3-3に示す立会で確認した以外の範囲について確認。検査日：10月28日 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査) (立会検査)

成績書管理番号: 06

検査年月日: 令和3年10月28日

検査場所: 九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象	項目	測定値等	検査結果	検査方法
緊急時対策所用発電機車 (1, 2号機共用) (予備以外)	外観検査※1	—	良	目視
	絶縁耐力検査※1	別添2-1参照		
	機能検査※1 警報検査 インターロック検査	別添2-1参照		
	系統性能検査※1 容量確認検査	別添2-1参照		
	性能検査※2 運転性能検査	別添2-2参照		
備考 ※1 検査日: 10月28日 ※2 検査日: 10月29日				

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録 検査用計器一覧表

成績書管理番号：06

検査年月日：令和3年10月28日、29日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考	
系統性能検査 容量確認検査	鋼製直尺	057944	0~600mm	±0.20mm	2020.12.1 2021.12.31	()は 探触子 番号を 示す	
	超音波式厚み計	125087 (M116)	0.8~36mm	±0.01mm	2021.1.15 2022.1.31		
絶縁耐力検査	絶縁抵抗計 (高低圧切替用)	準鹿保- 5505-0	0.200~ 4000MΩ	0.200~1000 MΩ:±5% 1010~4000 MΩ:±10%	2021.6.22 2022.6.30		
性能検査 運転性能検査	緊急時対策所用発電機車 (予備以外)	電圧	—	0~8600V	±99V	2021.8.21 2023.3.31	
		回転速度	—	0~2100min ⁻¹	±27 min ⁻¹	2021.8.23 2023.3.31	
		周波数	—	45.0~ 70.0Hz	±0.9Hz		
		出力	—	0~1825kW	±43.8 kW		

その他発電用原子炉の附属施設

- 1 非常用電源設備
- 2 非常用発電装置に係る次の事項

(2) 内燃機関に係る次の事項

イ 機関の名称、種類、出力、回転速度、燃料の種類及び使用量、個数並びに取付箇所並びに過給機の種類、出口の圧力、回転速度、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・可搬型

名		変 更 前		変 更 後	
機	種 類	(注1) 代替緊急時対策所用発電機 内燃機関 (1,2号機共用)			
	出 力	(注2) kW	91.3		
	回 転 速 度	min ⁻¹	1,800		
	燃 料 種 類		A重油又は軽油		
	使 用 量	(注3) l/h	23.1以下		(注5)
個	数		1 (注4)		
関	取 付 箇 所		代替緊急時対策所用発電機		
過	種 類		排気タービン式		
	出 口 の 圧 力	kPa	56.9		
給	回 転 速 度	min ⁻¹	88,000		
機	個 数		1 (注4)		
	取 付 箇 所		機関と同じ		

(注1) 代替緊急時対策所用発電機の附属機器である。

(注2) 記載の適正化を行う。既工事計画には、「kW/個」と記載。

(注3) 記載の適正化を行う。既工事計画には、「l/h/個」と記載。

(注4) 代替緊急時対策所用発電機1台当たりの個数を示す。

(注5) 代替緊急時対策所から緊急時対策所（指揮所）への緊急時対策機能の移行をもって廃止。

・可搬型

名称		変更前		変更後	
機	種類	緊急時対策所用発電機車 (注1) 内燃機関 (1,2号機共用)			
	出力	kW	ディーゼルエンジン 1,540		
	回転速度	min ⁻¹	1,800		
	燃料種類		A重油		
	使用量	ℓ/h	■以下		
関	個数		1 (注2)		
	箇所		緊急時対策所用発電機車		
過	種類		排気タービン式		
	出口の圧力	kPa	173.2		
	回転速度	min ⁻¹	90,000		
給	個数		4 (注2)		
	箇所		機関と同じ		

(注1) 緊急時対策所用発電機車の附属機器である。
 (注2) 緊急時対策所用発電機車1台当たりの個数を示す。

: 検査対象範囲

ロ 調速装置及び非常調速装置の名称及び種類

名		変更前		変更後	
調速装置	称	(注1) 代替緊急時対策所用発電機 (1,2号機共用)			
	種	類	機械式		
非常調速装置	称	類	電気式	— (注2)	

(注1) 代替緊急時対策所用発電機の附属機器である。

(注2) 代替緊急時対策所から緊急時対策所（指揮所）への緊急時対策所機能の移行をもって廃止。

名		称		変 更 前	変 更 後
調速装置	種	—	類		(注1) 緊急時対策所用発電機車 (1,2号機共用)
非常調速装置	種	—	類		電気式
					電気式

(注1) 緊急時対策所用発電機車の附属機器である。

: 検査対象範囲

ハ 内燃機関に附属する冷却水設備の名称、種類、容量、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・可搬型

名		変更前	変更後
種	類	(注1) 代替緊急時対策所用発電機 冷却水ポンプ (1,2号機共用)	
容	量	うず巻式 135	(注4) —
個	数	1 (注3)	
取	付 箇 所	代替緊急時対策所用発電機	

(注1) 代替緊急時対策所用発電機の附属機器である。

(注2) 記載の適正化を行う。既工事計画には、「 $l/min/個$ 」と記載。

(注3) 代替緊急時対策所用発電機1台当たりの個数を示す。

(注4) 代替緊急時対策所から緊急時対策所（指揮所）への緊急時対策所機能の移行をもって廃止。

・可搬型

変 更 前		変 更 後	
名 称		(注1) 緊急時対策所用発電機車 冷却水ポンプ (1,2号機共用)	
種 類	—	遠心式	
容 量	ℓ/min	1,700	
個 数	—	1 (注2)	
取 付 箇 所	—	緊急時対策所用発電機車	

(注1) 緊急時対策所用発電機車の附属機器である。

(注2) 緊急時対策所用発電機車1台当たりの個数を示す。

: 検査対象範囲

ホ 燃料ゲイタンク又はサーピスタンの名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

可搬型

名		変 更 前	変 更 後
種	類	代替緊急時対策所用発電機 (注1) 燃料タンク (1,2号機共用)	
容	量 ^(注2)	203 以上 (225 ^(注3))	
最	高 使 用 圧 力 ^(注2)	大気圧	
最	高 使 用 温 度 ^(注2)	40	— (注6)
主 要 寸 法	た	830 (注3)	
	横	490 (注3)	
	高	560 (注3)	
材	料	SEHC	
個	数	1 (注5)	
取	付 箇 所	代替緊急時対策所用発電機	

(注1) 代替緊急時対策所用発電機の附属機器である。

(注2) 重大事故等時における使用時の値。

(注3) 公称値

(注4) 記載の適正化を行う。既工事計画には、「0/個」と記載。

(注5) 代替緊急時対策所用発電機1台当たりの個数を示す。

(注6) 代替緊急時対策所から緊急時対策所（指挿所）への緊急時対策所機能の移行をもって廃止。

・可搬型

名 称		変 更 前	変 更 後
種 類	—		(注1) 緊急時対策所用発電機車 燃料油サービスタンク (1.2号機共用)
容 量	量 (注2)		角形 以上 (1,660 (注3))
最 高 使 用 圧 力	力 (注2)		大気圧
最 高 使 用 温 度	度 (注2)		50
主 要 寸 法	た	—	1,050 (注3)
	横		1,480 (注3)
	高		1,285 (注3)
材	料		SS400
個	数		1 (注4)
取	付 箇 所		緊急時対策所用発電機車

(注1) 緊急時対策所用発電機車の附属機器である。

(注2) 重大事故等時における使用時の値。

(注3) 公称値

(注4) 緊急時対策所用発電機車1台当たりの個数を示す。



： 検査対象範囲

(5) 発電機に係る次の事項
イ 発電機の名称、種類、容量、主要寸法、力率、電圧、相、周波数、回転速度、結線法、冷却方法、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・可搬型

名称		変更前	変更後
代替緊急時対策所用発電機 (1,2号機共用)			
種	類	三相交流同期発電機	
容	量	100	
主	長	2,750 (注1)	
	幅	1,050 (注1)	
	高	1,350 (注1)	
要	全長	3,900 (注1)	
	全幅	1,670 (注1)	
寸	全高	1,725 (注1)	
	率	80 (遅れ)	— (注2)
法	電圧	220	
力	相	3	
電	波	60	
周	数	1,800	
回	速	星形	
結	度	空冷	
線	法	1 (予備2)	
冷	方		
却	法		
個	数		

(1/2)

(2/2)

		変 更 前	変 更 後
取	付 筒 所	保管場所： 代替緊急時対策所付近 EL.約25m 又は 第1緊急用保管エリア EL.約23m 取付箇所： 【1号機のみ】：1台 屋外 EL.約25m 代替緊急時対策所付近	— (注2)

(注1) 公称値

(注2) 代替緊急時対策所から緊急時対策所（指揮所）への緊急時対策所機能の移行をもって廃止。

可搬型		変更前		変更後			
名称	種類	単位	数量	名称	数量		
緊急時対策所用発電機車 (1,2号機共用)	三相交流同期発電機	kVA/個	1,825	緊急時対策所用発電機車 (1,2号機共用)	1,825		
主	全	長	1,962 (注1)	主	全	長	1,962 (注1)
	全	幅	1,090 (注1)		全	幅	1,090 (注1)
	全	高	1,000 (注1)		全	高	1,000 (注1)
要	全	長	17,600 (注1)	要	全	長	17,600 (注1)
	全	幅	2,990 (注1)		全	幅	2,990 (注1)
寸	全	幅	4,600 (注1) (注2)	寸	全	幅	4,600 (注1) (注2)
	全	高	5,399 (注1)		全	高	5,399 (注1)
法	全	率	80 (遅れ)	法	全	率	80 (遅れ)
	全	圧	6,600		全	圧	6,600
力	全	相	3	力	全	相	3
	全	波	60		全	波	60
電	全	数	1,800	電	全	数	1,800
	全	度	星形		全	度	星形
周	全	法	空冷	周	全	法	空冷
	全	方	1 (予備2)		全	方	1 (予備2)
回	結	数		回	結	数	
結	冷	法		結	冷	法	
冷	個	数		冷	個	数	

: 検査対象範囲

(2/2)

		変 更 前	変 更 後
取 付 箇 所	—	—	保管場所： 緊急時対策棟（指揮所）付近 EL.約25m、 第6 緊急用保管エリア EL.約25m 又は 第6 緊急用保管エリア EL.約30m 取付箇所： 【1号機のみ】1台 屋外 EL.約25m 緊急時対策棟（指揮所）付近

(注1) 公称値

(注2) 吸気フード含む際の車両全幅を記載。

ロ 励磁装置の名称、種類、容量、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・可搬型

変 更 前		変 更 後	
名 称	(注1) 代替緊急時対策所用発電機 励磁装置 (1,2号機共用)		
種 類	ブラシレス		
容 量	(注2) kVA	4.4	
個 数		(注3) 1	
取 付 箇 所	代替緊急時対策所用発電機		

(注1) 代替緊急時対策所用発電機の附属機器である。

(注2) 記載の適正化を行う。既工事計画には、「kVA/個」と記載。

(注3) 代替緊急時対策所用発電機1台当たりの個数を示す。

(注4) 代替緊急時対策所から緊急時対策所（指揮所）への緊急時対策所機能の移行をもって廃止。

・可搬型

変 更 前		変 更 後	
名 称		(注1) 緊急時対策所用発電機車 励磁装置 (1,2号機共用)	
種 類	—	ブラシレス	
容 量	kVA	7.89	
個 数	—	1 (注2)	
取 付 箇 所	—	緊急時対策所用発電機車	

(注1) 緊急時対策所用発電機車の附属機器である。
(注2) 緊急時対策所用発電機車1台当たりの個数を示す。

: 検査対象範囲

ハ 保護継電装置の名称及び種類

名		変 更 前	変 更 後
称		(注1) 代替緊急時対策所用発電機 保護継電器 (1,2号機共用)	(注2) —
種	類	過電流継電器 漏電継電器	—

(注1) 代替緊急時対策所用発電機の附属機器である。

(注2) 代替緊急時対策所から緊急時対策所（指揮所）への緊急時対策所機能の移行をもって廃止。

名 称		変 更 前	変 更 後
種 類	—	—	(注1) 緊急時対策所用発電機車 保護継電器 (1,2号機共用) 不足電圧継電器 過電圧継電器 過電流継電器

(注1) 緊急時対策所用発電機車の附属機器である。

: 検査対象範囲

ニ 原動機との連結方法

変更前		変更後
名称	代替緊急時対策所用発電機 (1,2号機共用)	— (注1)
連結方法	直結	

(注1) 代替緊急時対策所から緊急時対策所（指揮所）への緊急時対策所機能の移行をもって廃止。

名 称		変 更 前		変 更 後	
名	称	方	法	方	法
			—		緊急時対策所用発電機車 (1,2号機共用)
連	結	方	法	方	直結

: 検査対象範囲

絶縁耐力検査記録		
設定値*		判定基準
電圧	時間	
10, 350V	10 分間	検査電圧に耐え、かつ、異常がないこと。また、検査前後の絶縁抵抗測定値に有意な変動がないこと。

※：設定値は「原子力発電工作物に係る電気設備の技術基準の解釈」による

警報・インターロック検査記録					
項目	確認項目				判定基準
	警報 (表示)	インターロック		設定値	
		遮断器 「開」	機関 停止		
潤滑油圧力低下 (2nd)	点灯	動作	動作	150 kPa (±30 kPa)	警報及びインターロックが点灯又は動作すること
過電圧 (遮断器盤)	点灯	動作	動作	140V (±7V)	警報及びインターロックが点灯又は動作すること

容量確認検査記録			
検査対象	工事計画記載値 (ℓ)	許容値 (ℓ)	確認値 (ℓ)
燃料油サーピスタック	■以上 (1660*)	■以上	1657

※：公称値

運転性能検査記録

判定基準： a 運転状態に異常がないこと。
b 測定値が許容値を満足していること。

確認項目	発電機 (機関) 回転速度 (min^{-1})	発電機容量 (kVA) ※1	発電機電圧 (V)			発電機 周波数 (Hz)
			U-V	V-W	W-U	
工事計画記載値	1,800	1,825	6,600			60
許容値	$1,800 \pm 36^{*3}$	$1,825$ 以上※2	$6,600 \pm 330^{*3}$			$60 \pm 1.2^{*3}$
運転時間	測定値	測定値	測定値			測定値
0分	1799	1827	6598	6602	6612	60.0
10分	1800	1827	6591	6603	6609	60.0
20分	1801	1828	6595	6603	6609	60.0
30分	1800	1828	6592	6606	6612	60.0
40分	1801	1827	6597	6609	6609	60.1
50分	1801	1828	6590	6611	6610	60.1
60分	1801	1827	6595	6612	6614	60.0

備考

※1：発電機容量は発電機出力を発電機力率 0.8^{*4} で除した値を計算値として記載する。

※2：許容値は工事計画による。

※3：許容値は JEC-2130 による。※4：発電機力率は工事計画の表記（機器銘板の表記）

九州電力株式会社
川内原子力発電所第1号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第2003197号99

成績書管理番号：07

令和3年10月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：07

- 1 発電所名 九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和3年7月30日
至 令和3年10月20日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	原発本第224号(令和2年3月19日) 原発本第26号(令和2年4月7日) 原発本第108号(令和3年9月30日)
--------------------	---

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：07

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和3年 7月30日	良	宇野正登	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：07

検査年月日：令和3年7月30日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・一	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：07

検査年月日： 令和3年 7月 30日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：07

検査年月日： 令和3年 7月 30日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検 査 対 象			
その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 非常用発電装置 燃料設備 容器 (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統性能検査 容量確認検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	(目視) (記録確認)
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN1-5-81-02-d ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査) (立会検査)

成績書管理番号：07

検査年月日：令和3年7月30日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
B緊急時対策所用発電機車用 燃料油貯蔵タンク (1,2号機共用)	容量確認検査	別添2参照	良	目視
以下余白				
備考				

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 検査用計器一覧表

成績書管理番号：07

検査年月日：令和3年7月30日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
容量確認 検査	棒ゲージ	002404	600 ~ 5960 mm	±3.5mm	2021/6/10 2022/6/30	
以下余白						

口 容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・常設

名称		変更前		変更後	
種類	単位	緊急時対策所用発電機車用燃料油貯蔵タンク (1,2号機共用)			
容量	kg/個	横置円筒形 以上 (75 (注2))			
最高使用圧力	MPa	大気圧			
最高使用温度	℃	40			
主要寸法	胴内径	3,200 (注2)			
	胴板厚さ	(20.0 (注2))			
	鏡板厚さ	(20.0 (注2))			
	鏡板の形状に係る寸法	3,200 (注3) 320 (注4)			
	送油口管台外径	60.5 (注2)			
送油口管台厚さ	全長	(3.9 (注2))			
	胴板	10,900 (注2)			
鏡板	胴板	SM400B			
	鏡板	SM400B			
個数	個	2			
取付箇所	系統名	A緊急時対策所用発電機車用燃料油貯蔵タンク A緊急時対策所用発電機車用燃料ライン		B緊急時対策所用発電機車用燃料油貯蔵タンク B緊急時対策所用発電機車用燃料ライン	
	設置	緊急時対策棟屋外地下エリア (燃料設備) EL.15.0m 地下埋設		緊急時対策棟屋外地下エリア (燃料設備) EL.15.0m 地下埋設	
	溢水防護上の区画番号	溢水防護上の配慮が必要な高さ		溢水防護上の配慮が必要な高さ	

(注1) 重大事故時における使用時の値。

(注2) 公称値

(注3) 記載値は公称値であり、鏡板の中央部における内面の半径を示す。

(注4) 記載値は公称値であり、鏡板の隅の丸みの内半径を示す。

系統性能検査記録 (容量確認検査)

検査年月日 令和3年7月30日

検査項目	名称	判定基準	測定値 (kℓ)	確認方法	結果
容量 確認検査	B緊急時対策所用 発電機車用 燃料油貯蔵タンク (1,2号機共用)	■kℓ以上 (設計確認値) ■kℓ以上※ (公称値: 75 kℓ)	74.88	目視	良
備考					

※製作公差を考慮して設定した容量

系統性能検査記録 (容量確認検査)
 (B緊急時対策所用発電機車用燃料油貯蔵タンク)

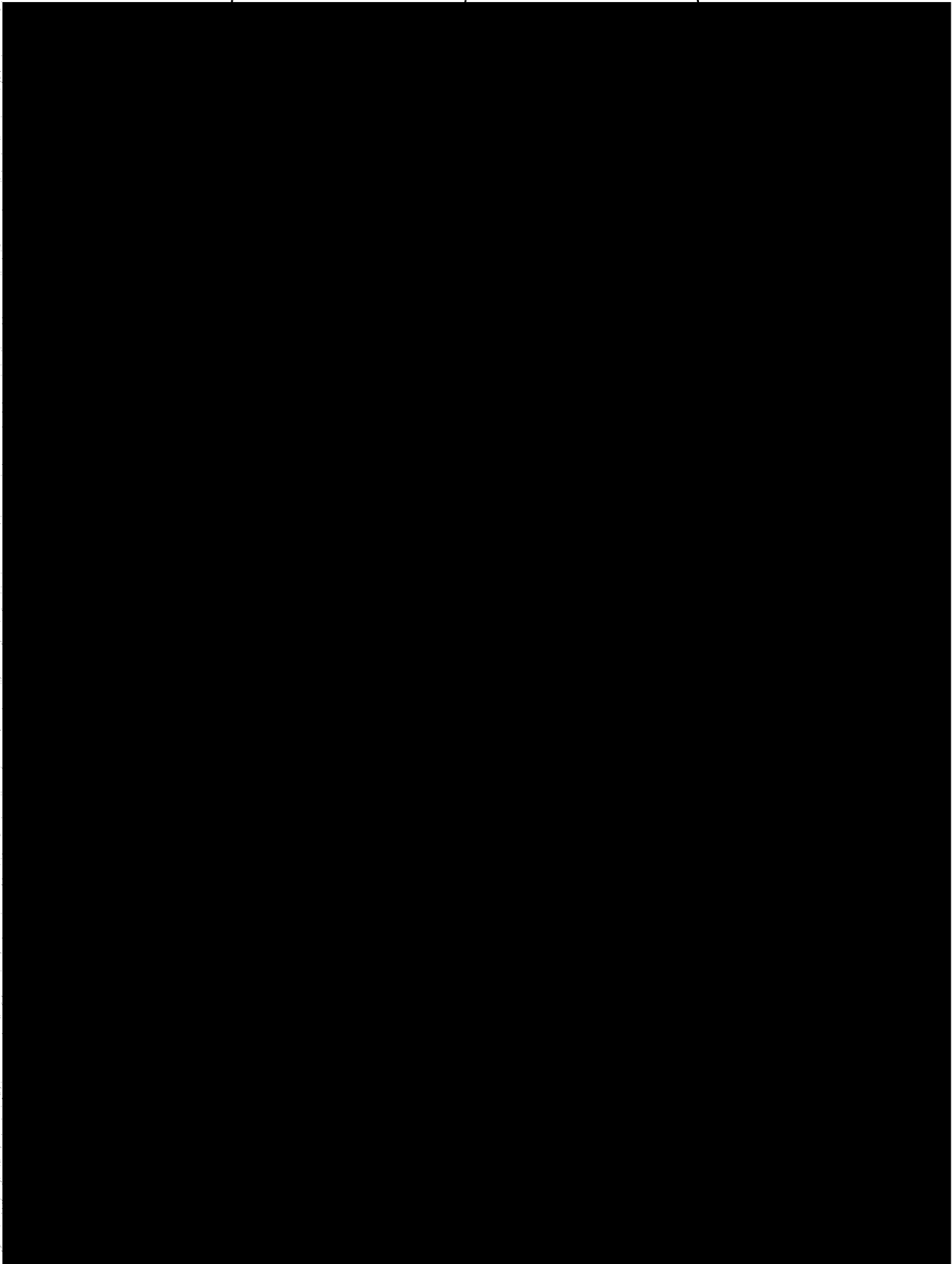
1. 容量算出に用いた寸法

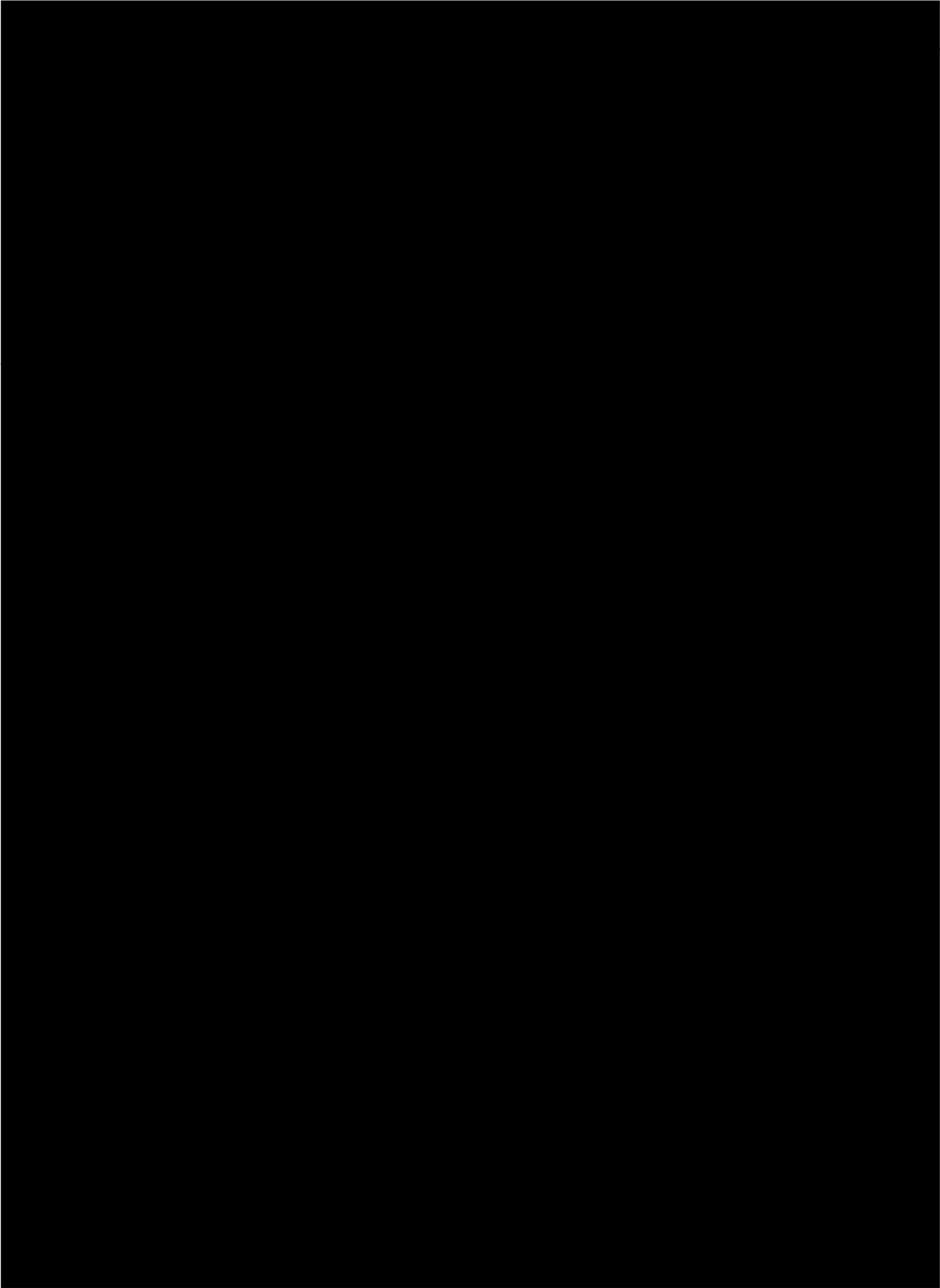
寸法測定箇所	記号	測定値 (mm)	備考
胴内径 (実測 (代表点))	ID	3,196	目視
鏡板の中央部における内面の半径 * 1	R1	3,204.7	最小値
容量計算に用いる内径	ID1	3,196	※
全長 * 1	L	10,916	
鏡板厚さ (鏡板中央部) * 1	t2(a)	19.62	マンホール管台側
	t2(b)	19.69	送油口管台側
型板のケガキ線寸法 * 1	Y◎	571.0	
型板のケガキ線と 鏡板内面の隙間 (鏡板中央部) * 1	S(a)	56.5	マンホール管台側
	S(b)	56.5	送油口管台側

* 1 : QSN1-1-81-02-f により確認

※ : 容量計算に用いるID1は、「胴内径 (ID)」及び「鏡板の中央部における内面の半径 (R1)」の最小値を採用する。

2. 容量計算





検査結果一覧表

成績書管理番号：07

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和3年 10月20日	良	須貝 実 平沢 淳	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：07

検査年月日：令和3年10月20日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：07

検査年月日：令和3年10月20日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・一	
系統構成が完了していること。	立会 ◎記録確認	◎良・一	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：07

検査年月日：令和3年10月20日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 非常用発電装置 燃料設備 ポンプ 主配管 (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統性能検査 運転性能検査 燃料給油検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認 ^{※2}
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※1)による。 ※1 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN1-5-81-02-e ※2 B緊急時対策所用発電機車用給油ポンプ(1,2号機共用)及び主配管(・B緊急時対策所用発電機車用燃料油貯蔵タンク～B緊急時対策所用発電機車用給油ポンプ(1,2号機共用)・B緊急時対策所用発電機車用給油ポンプ～緊急時対策所用発電機車用給油ライン取合用接続口(1,2号機共用)・緊急時対策所用発電機車用給油ライン取合用接続口～緊急時対策所用発電機車用給油ライン取合用フレキシブルホース入口接続口 ^{※3} (1,2号機共用)・緊急時対策所用発電機車用給油ライン取合用フレキシブルホース ^{※3} (1,2号機共用)・緊急時対策所用発電機車用給油ライン取合用フレキシブルホース出口接続口～緊急時対策所用発電機車燃料油サービスタンク接続口 ^{※3} (1,2号機共用)) ※3 検査対象のうち予備について確認 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

九州電力株式会社川内原子力発電所第 1 号機 使用前検査記録 (五号検査) (立会検査)

成績書管理番号：07

検査年月日：令和 3 年 10 月 20 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象	項目	測定値等	検査結果	検査方法
A 緊急時対策所用発電機車用 給油ポンプ (1, 2号機共用)	系統性能検査 運転性能検査	別添 3 参照	良	
主配管 ・ A 緊急時対策所用発電機車用 燃料油貯蔵タンク～ A 緊急時対策所用発電機車用 給油ポンプ (1, 2号機共用) ・ A 緊急時対策所用発電機車用 給油ポンプ～ 緊急時対策所用発電機車用 給油ライン取合用接続口 (1, 2号機共用) ・ 緊急時対策所用発電機車用 給油ライン取合用接続口～ 緊急時対策所用発電機車用 給油ライン取合用 フレキシブルホース入口接続口※ (1, 2号機共用) ・ 緊急時対策所用発電機車用 給油ライン取合用 フレキシブルホース※ (1, 2号機共用) ・ 緊急時対策所用発電機車用 給油ライン取合用 フレキシブルホース出口接続口～ 緊急時対策所用発電機車 燃料油サービスタンク接続口※ (1, 2号機共用) (別添 2 参照)	系統性能検査 燃料給油検査	異常なく通油 されること	良	目視
備考 ※：検査対象のうち予備以外について確認				

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 検査用計器一覧表

成績書管理番号：07

検査年月日：令和3年10月20日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
系統性能検査 運転性能検査	流量計	135441	0~5000kg/h	±1.0%	2021.7.6 2022.7.31	
系統性能検査 運転性能検査	直尺	124654	0~1.5m	±0.25mm	2020.11.2 2021.11.30	
系統性能検査 運転性能検査	圧力計	PI-20311	-0.1~0.6MPa	±1.6% F.S.	2021.8.10 次回定期事業者検査	
系統性能検査 運転性能検査	圧力計	PI-20312	-0.1~0.6MPa	±1.6% F.S.	2021.8.10 次回定期事業者検査	
以下余白						

その他発電用原子炉の附属施設
 1 非常用電源設備
 2 非常用発電装置

(4) 燃料設備に係る次の事項
 イ ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・ 常設

名称	変更前		変更後		
	種類	数量	種類	数量	
ポンプ	緊急時対策所用発電機車用給油ポンプ (1,2号機共用)		緊急時対策所用発電機車用給油ポンプ (1,2号機共用)		
	揚程	m	揚程	m	
	最高使用圧力	MPa	最高使用圧力	MPa	
	最高使用温度	℃	最高使用温度	℃	
	吸入径	mm	吸入径	mm	
	吐出径	mm	吐出径	mm	
	吐出口径	mm	吐出口径	mm	
	横高さ	mm	横高さ	mm	
	ケージ径	mm	ケージ径	mm	
	個数	2	個数	2	
	取付箇所	A緊急時対策所用発電機車用給油ポンプ A緊急時対策所用発電機車用給油ライン 緊急時対策棟屋外地下エリア（燃料設備） EL.15.0m	B緊急時対策所用発電機車用給油ポンプ B緊急時対策所用発電機車用給油ライン 緊急時対策棟屋外地下エリア（燃料設備） EL.15.0m		
	種別	12T-E-102 EL.15.1m以上	12T-E-103 EL.15.1m以上		
	出力	三相誘導電動機	三相誘導電動機		
	個数	1.5	1.5		
	取付箇所	2	2		

☐ : 検査対象範囲

ニ 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料（常設及び可換型の別に記載し、可換型の場合は、個数及び取付箇所を付記すること。）

・常設

名	変 更 前				変 更 後				材 料			
	名 称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用圧力 (MPa)		最高使用温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)
非常用発電装置	非常用発電装置											
	緊急時対策所用 発電機専用 燃料油貯蔵タンク ～ 緊急時対策所用 発電機専用 給油ポンプ (1,2号機共用)	0 (注1)	40 (注1)	48.6 (注2)	3.7 (注2)	STPG370	緊急時対策所用 発電機専用 給油ポンプ (1,2号機共用)	0 (注1)	40 (注1)	60.5 (注2)	3.9 (注2)	STPG370
	緊急時対策所用 発電機専用 給油ポンプ ～ 緊急時対策所用 発電機専用 給油ライン取合用 接続口 (1,2号機共用)	0.38 (注1)	40 (注1)	34.0 (注2)	3.4 (注2)	STPG370	緊急時対策所用 発電機専用 給油ライン取合用 接続口 (1,2号機共用)	0.38 (注1)	40 (注1)	34.0 (注2)	3.4 (注2)	SUS304TP
				48.6 (注2)	3.7 (注2)	STPG370				48.6 (注2)	3.7 (注2)	STPG370

(注1) 重大事故等時における使用時の値。
(注2) 公称値

: 検査対象範囲

・可搬型

変更前		変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
非常用発電装置							
非常用発電装置	(注1) 0.38	(注1) 40	(注2) 34.0	(注2) 3.4	SUS304TP	1 (予備2)	保管場所： 緊急時対策棟屋外地下エリア（燃料設備） EL.21.2m 取付箇所： 【1号機のみ】1本 屋外 EL.約25m 緊急時対策所用発電機専用給油ライン 取合用接続口 ～緊急時対策所用発電機専用給油ライン 取合用フレキシブルホース入口接続口
非常用発電装置	(注1) 0.38	(注1) 40	(注3) 25A	(注4) —	SUS316L	1 (予備2)	保管場所： 緊急時対策棟屋外地下エリア（燃料設備） EL.21.2m 取付箇所： 【1号機のみ】1本 屋外 EL.約25m 緊急時対策所用発電機専用給油ライン 取合用フレキシブルホース入口接続口 ～緊急時対策所用発電機専用給油ライン 取合用フレキシブルホース出口接続口

 : 検査対象範囲

変更前					変更後										
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
非常用発電装置								非常用発電装置	(注1) 0.38	(注1) 40	(注2) 34.0	(注2) 3.4	SUS304TP	1 (予備2)	保管場所： 緊急時対策棟屋外地下エリア (燃料設備) EL.21.2m 取付箇所： 【1号機のみ】1本 屋外 EL.約25m 緊急時対策所用発電機車用給油ライン 取合用フレキシブルホース出口接続口 ~ 緊急時対策所用発電機車 燃料油サービスタング接続口

(注1) 重大事故等時における使用時の値。

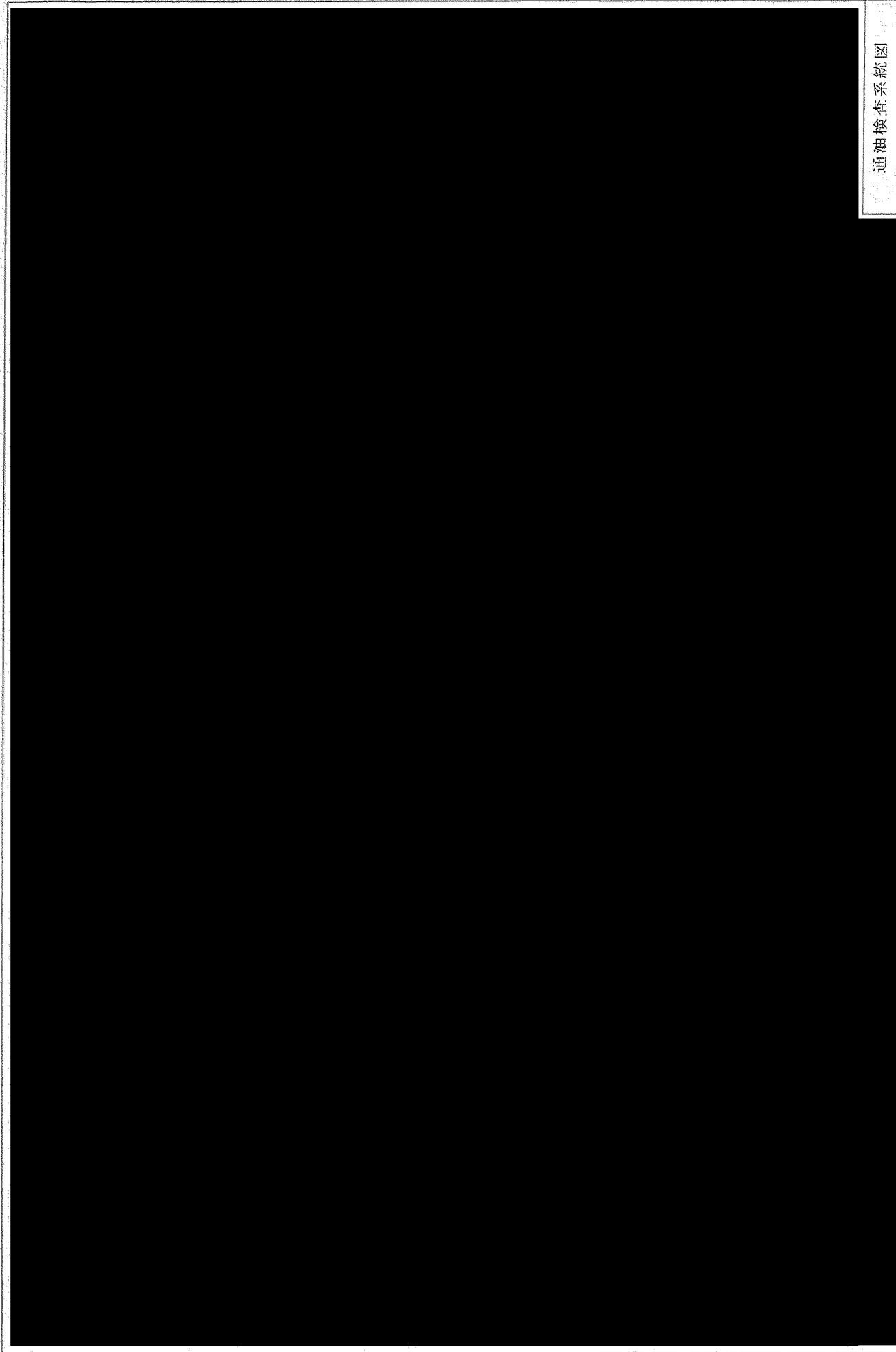
(注2) 公称値

(注3) メーカーにて規定する呼び径を示す。

(注4) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

: 検査対象範囲

通油検査系統図



運転性能検査記録			
項目	工事計画 記載値	許容値 ^{※2}	確認値
容量 (m ³ /h)	■以上 (1.8 ^{※1})	■以上	1.822
揚程 (m)	■以上 (20 ^{※1})	■以上	25.4

※1：公称値

※2：許容値はメーカー基準による。

九州電力株式会社
川内原子力発電所第1号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第2003197号99

成績書管理番号：09

令和3年11月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：09

- 1 発電所名 九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和3年4月21日
至 令和3年11月4日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号	原発本第224号 (令和2年3月19日)
(申請年月日)	原発本第26号 (令和2年4月7日)
	原発本第108号 (令和3年9月30日)

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：09

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
<p>令和3年 4月21日 22</p>	<p>良</p>	<p>雑賀康正 吉村直樹</p>	<p>発電用原子炉主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]</p>	<p>なし</p>

九州電力株式会社川内原子力発電所第 1 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：09

検査年月日：令和 3 年 4 月 22 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・一	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号: 09

検査年月日: 令和3年4月21日

検査場所: 九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：09

検査年月日：令和3年4月21日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象

その他発電用原子炉の附属施設

火災防護設備

火災区域構造物及び火災区画構造物

緊急時対策棟（指揮所）

緊急時対策棟屋外地下エリア（燃料設備）（別添1参照）

検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に 従い製作され、据付けされ、 所定の性能を有しており、 技術基準に適合するもので あること。	良	目視 記録確認

備考

・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。

※ 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN1-1-84-01-d

・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査) (立会検査)

成績書管理番号：09

検査年月日：令和3年4月21日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 火災区域構造物及び火災区画構造物 緊急時対策棟屋外地下エリア (燃料設備) (別添2参照)	寸法検査	別添3 参照	良	目視
その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 火災区域構造物及び火災区画構造物 緊急時対策棟屋外地下エリア (燃料設備) (別添2参照)	外観検査	—	良	
その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 火災区域構造物及び火災区画構造物 緊急時対策棟屋外地下エリア (燃料設備) (別添2参照)	組立て及び据付け状態 を確認する検査	—	良	
備考 確認範囲：通路(屋外4)(1,2号機共用) TSC4-8 (外観検査に於いては可視可能範囲について確認した。)				

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 検査用計器一覧表

成績書管理番号：09

検査年月日：令和3年4月21日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	鋼製巻尺	212	0 ~ 5.5 m	± 0.8 mm	2021.01.22 2022.01.21	
以下余白						

その他発電用原子炉の附属施設

4 火災防護設備

1 火災区域威構造物及び火災区域構造物の名称、種類、主要寸法及び材料

・緊急時対策棟（指揮所）

(1/2)

変更前				変更後			
名	区 分	番 号	種 類	名	区 分	番 号	種 類
火災区域（区画）名称				火災区域（区画）名称			
				指揮所(1) (1,2号機共用)	火災区画	TSCI-1	
				指揮所(2) (1,2号機共用)	火災区画	TSCI-2	
				通路 (1階1) (1,2号機共用)	火災区画	TSCI-3	
				配管スペース (1階1) (1,2号機共用)	火災区画	TSCI-4	
				出入管理エリア (1,2号機共用)	火災区画	TSCI-5	
				ダクトスペース (1階) (1,2号機共用)	火災区画	TSCI-6	
				トイレ (1,2号機共用)	火災区画	TSCI-7	
				配管スペース (1階2) (1,2号機共用)	火災区画	TSCI-8	
				通路 (1階2) (1,2号機共用)	火災区画	TSCI-9	
				配管スペース (1階3) (1,2号機共用)	火災区画	TSCI-10	
				配線スペース (1階) (1,2号機共用)	火災区画	TSCI-11	
				通路 (1階3) (1,2号機共用)	火災区画	TSCI-12	
				空調機械室(1) (1,2号機共用)	火災区画	TSC2-1	
				通信機械室(1) (1,2号機共用)	火災区画	TSC2-2	
							壁
							200 ^(注1)
							鉄筋 コンクリート

別添1

(1/4)

(2/2)

変更前					変更後				
名	火災区域(区画)名称	区分	番号	称号	種類	主要寸法(mm)	材	料	
	緊急時対策所 非常用空気浄化ファーン室 (1,2号機共用)	火災区画	TSC2-3						
	蓄電池室(1,2号機共用)	火災区画	TSC2-4						
	配線スペース(2階1) (1,2号機共用)	火災区画	TSC2-5						
	通路(2階1) (1,2号機共用)	火災区画	TSC2-6						
	配管スペース(2階1) (1,2号機共用)	火災区画	TSC2-7						
	電気計装用電源機械室 (1,2号機共用)	火災区画	TSC2-8						
	空調機械室(2) (1,2号機共用)	火災区画	TSC2-9						
	配管スペース(2階2) (1,2号機共用)	火災区画	TSC2-10						
	配線スペース(2階2) (1,2号機共用)	火災区画	TSC2-11						
	通信機械室(2) (1,2号機共用)	火災区画	TSC2-12						
	通路(2階2) (1,2号機共用)	火災区画	TSC2-13						
	緊急時対策所非常用 空気浄化フィルタユニット室 (1,2号機共用)	火災区画	TSC3-1						
	通路(屋上)(1,2号機共用)	火災区画	TSC3-2						
	配線スペース(屋上) (1,2号機共用)	火災区画	TSC3-3						
					壁	200 ^(注1)			鉄筋 コンクリート

(注1) 公称値のうち最小のものを示す。

別添1

(2/4)

・緊急時対策棟屋外地下エリア（燃料設備）

変更前					変更後							
名	火災区域（区画）名称	区分	番号	称号	種類	主要寸法（mm）	材	料	種類	主要寸法（mm）	材	料
	火災区域（区画）名称	区分	番号	称号								
	通路（屋外1） （1,2号機共用）	火災区画	TSC4-1									
	A 緊急時対策所用発電機車用 燃料油貯蔵タンク上部配管室 （1,2号機共用）	火災区画	TSC4-2									
	B 緊急時対策所用発電機車用 燃料油貯蔵タンク上部配管室 （1,2号機共用）	火災区画	TSC4-3									
	通路（屋外2） （1,2号機共用）	火災区画	TSC4-4									
	通路（屋外3） （1,2号機共用）	火災区画	TSC4-5									
	A 緊急時対策所用発電機車用 給油ポンプ上部配管室 （1,2号機共用）	火災区画	TSC4-6									
	B 緊急時対策所用発電機車用 給油ポンプ上部配管室 （1,2号機共用）	火災区画	TSC4-7							250 (注1)		鉄筋 コンクリート
	通路（屋外4） （1,2号機共用）	火災区画	TSC4-8									
	A 緊急時対策所用発電機車用 燃料油貯蔵タンク室 （1,2号機共用）	火災区画	TSC4-9									
	B 緊急時対策所用発電機車用 燃料油貯蔵タンク室 （1,2号機共用）	火災区画	TSC4-10									
	A 緊急時対策所用発電機車用 給油ポンプ室 （1,2号機共用）	火災区画	TSC4-11									
	B 緊急時対策所用発電機車用 給油ポンプ室 （1,2号機共用）	火災区画	TSC4-12									

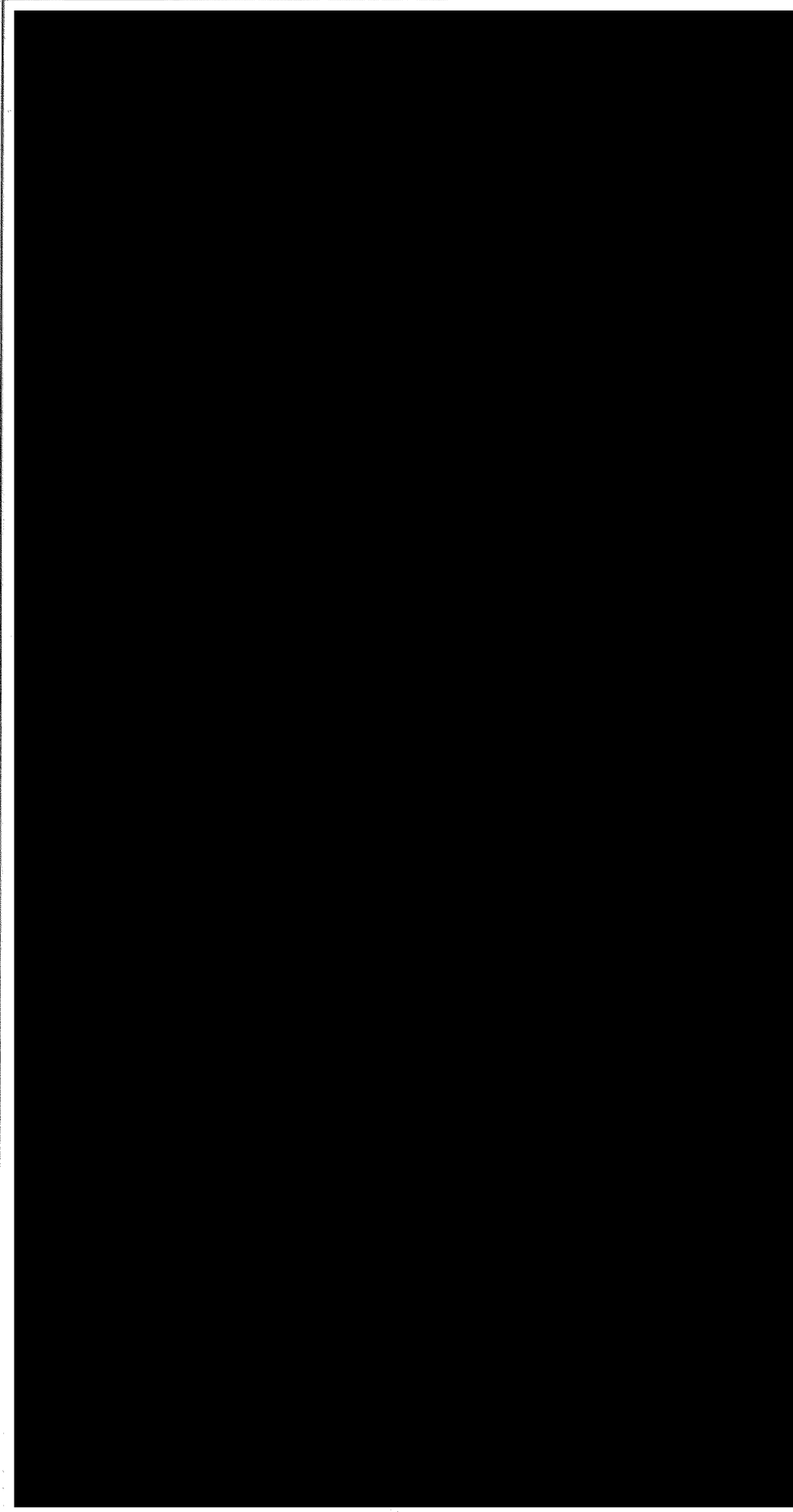
(注1) 公称値のうち最小のものを示す。

・緊急時対策棟屋外地下エリア（燃料設備トレンチ）

変更前				変更後			
名	火災区域（区画）名称	区分	番号	称号	種類	主要寸法（mm）	材料
	火災区域（区画）名称 緊急時対策棟屋外地下エリア （燃料設備トレンチ） （1.2号機共用）	火災区画	TSC4-13		壁	500 (注1)	鉄筋 コンクリート

(注1) 公称値のうち最小のものを示す。

施設名：その他発電用原子炉の附属施設
 火災防護設備
 設備名：火災区域構造物及び火災区画構造物



工事計画認可申請	第16-5図
川内原子力発電所第1号機	
その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備に係る機器の配置を 明示した図面及び構造図 (火災区域構造物及び火災区画構造物) 緊急時対策棟屋外地下エリア (燃料設備) (EL.15.0m)	
九州電力株式会社	

別添2

川内原子力発電所第1号機

寸法検査記録 (五号検査 (立会検査))

主要寸法

検査年月日：令和3年4月21日
検査場所：川内原子力発電所

検査対象設備名	部位	設計値* (mm)	許容範囲* (mm)	測定値 (mm)	検査結果	検査方法
火災防護設備 火災区域構造物 及び火災区画構造物 緊急時対策棟 屋外地下エリア (燃料設備)	通路 (屋外4) (1, 2号機共用) TSC4-8	250	最大値： 規定しない 最小値： 245	256	良	目視

備考

* 設計値及び許容範囲は工事計画認可資料による。

検査結果一覧表

成績書管理番号：09

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和3年 11月4日	良	炭谷 徹 守野 正登	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：09

検査年月日： 令和3年 11月 4日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・一	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：09

検査年月日： 令和3年 11月 4日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・⊖	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：09

検査年月日： 令和3年 11月 4日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象

その他発電用原子炉の附属施設

火災防護設備

火災区域構造物及び火災区画構造物

緊急時対策棟 (指揮所)

緊急時対策棟屋外地下エリア (燃料設備)

緊急時対策棟屋外地下エリア (燃料設備トレンチ)

} (別添1参照)

検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、 所定の性能を有しており、 技術基準に適合するもので あること。	良	目視 記録確認

備考

・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録 (※) による。

※ 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN1-1-84-01-d

その他発電用原子炉の附属施設

4 火災防護設備

1 火災区域構造物及び火災区画構造物の名称、種類、主要寸法及び材料

・緊急時対策棟 (指揮所)

(1/2)

変更前				変更後							
名	区 分	番 号	種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名	区 分	番 号	種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域 (区画) 名称	火災区域 (区画) 名称					火災区域 (区画) 名称	火災区画	TSC1-1			
	指揮所(1) (1,2号機共用)					指揮所(1) (1,2号機共用)	火災区画	TSC1-1			
	指揮所(2) (1,2号機共用)					指揮所(2) (1,2号機共用)	火災区画	TSC1-2			
	通路 (1階1) (1,2号機共用)					通路 (1階1) (1,2号機共用)	火災区画	TSC1-3			
	配管スペース (1階1) (1,2号機共用)					配管スペース (1階1) (1,2号機共用)	火災区画	TSC1-4			
	出入管理エリア (1,2号機共用)					出入管理エリア (1,2号機共用)	火災区画	TSC1-5			
	ダクトスペース (1階) (1,2号機共用)					ダクトスペース (1階) (1,2号機共用)	火災区画	TSC1-6			
	トイレ (1,2号機共用)					トイレ (1,2号機共用)	火災区画	TSC1-7			
	配管スペース (1階2) (1,2号機共用)					配管スペース (1階2) (1,2号機共用)	火災区画	TSC1-8		200 (注1)	鉄筋 コンクリート
	通路 (1階2) (1,2号機共用)					通路 (1階2) (1,2号機共用)	火災区画	TSC1-9			
	配管スペース (1階3) (1,2号機共用)					配管スペース (1階3) (1,2号機共用)	火災区画	TSC1-10			
	配管スペース (1階) (1,2号機共用)					配管スペース (1階) (1,2号機共用)	火災区画	TSC1-11			
	通路 (1階3) (1,2号機共用)					通路 (1階3) (1,2号機共用)	火災区画	TSC1-12			
	空調機械室(1) (1,2号機共用)					空調機械室(1) (1,2号機共用)	火災区画	TSC2-1			
	通信機械室(1) (1,2号機共用)					通信機械室(1) (1,2号機共用)	火災区画	TSC2-2			

変更前					変更後				
名	区	分	番	称	名	区	分	番	称
火災区域(区画)名称	区	分	番	号	火災区域(区画)名称	区	分	番	号
					緊急時対策所 非常用空気浄化ファン室 (1,2号機共用)	火災区画		TSC2-3	
					蓄電池室(1,2号機共用)	火災区画		TSC2-4	
					配線スペース(2階1) (1,2号機共用)	火災区画		TSC2-5	
					通路(2階1) (1,2号機共用)	火災区画		TSC2-6	
					配線スペース(2階1) (1,2号機共用)	火災区画		TSC2-7	
					電気計装用電源機械室 (1,2号機共用)	火災区画		TSC2-8	
					空調機械室(2) (1,2号機共用)	火災区画		TSC2-9	
					配線スペース(2階2) (1,2号機共用)	火災区画		TSC2-10	
					配線スペース(2階2) (1,2号機共用)	火災区画		TSC2-11	
					通信機械室(2) (1,2号機共用)	火災区画		TSC2-12	
					通路(2階2) (1,2号機共用)	火災区画		TSC2-13	
					緊急時対策所非常用 空気浄化ファンユニット室 (1,2号機共用)	火災区画		TSC3-1	
					通路(屋上)(1,2号機共用)	火災区画		TSC3-2	
					配線スペース(屋上) (1,2号機共用)	火災区画		TSC3-3	

種類
壁
200 (注1)
鉄筋
コンクリート

(注1) 公称値のうち最小のものを示す。

・緊急時対策棟屋外地下エリア (燃料設備)

変更前					変更後				
名	区画 (区画) 名称	区分	番号	称号	種類	主要寸法 (mm)	材	料	
火災区域 (区画) 名称	火災区域 (区画) 名称	区分	番号	称号	種類	主要寸法 (mm)	材	料	
通路 (屋外1) (1,2号機共用)	火災区域 (区画) 名称	火災区域 (区画)	TSC4-1	通路 (屋外1) (1,2号機共用)	壁	250 (注1)	鉄筋	コンクリート	
A 緊急時対策所用発電機車用燃料油貯蔵タンク上部配管室 (1,2号機共用)	火災区域 (区画) 名称	火災区域 (区画)	TSC4-2	A 緊急時対策所用発電機車用燃料油貯蔵タンク上部配管室 (1,2号機共用)	壁	250 (注1)	鉄筋	コンクリート	
B 緊急時対策所用発電機車用燃料油貯蔵タンク上部配管室 (1,2号機共用)	火災区域 (区画) 名称	火災区域 (区画)	TSC4-3	B 緊急時対策所用発電機車用燃料油貯蔵タンク上部配管室 (1,2号機共用)	壁	250 (注1)	鉄筋	コンクリート	
通路 (屋外2) (1,2号機共用)	火災区域 (区画) 名称	火災区域 (区画)	TSC4-4	通路 (屋外2) (1,2号機共用)	壁	250 (注1)	鉄筋	コンクリート	
通路 (屋外3) (1,2号機共用)	火災区域 (区画) 名称	火災区域 (区画)	TSC4-5	通路 (屋外3) (1,2号機共用)	壁	250 (注1)	鉄筋	コンクリート	
A 緊急時対策所用発電機車用給油ポンプ上部配管室 (1,2号機共用)	火災区域 (区画) 名称	火災区域 (区画)	TSC4-6	A 緊急時対策所用発電機車用給油ポンプ上部配管室 (1,2号機共用)	壁	250 (注1)	鉄筋	コンクリート	
B 緊急時対策所用発電機車用給油ポンプ上部配管室 (1,2号機共用)	火災区域 (区画) 名称	火災区域 (区画)	TSC4-7	B 緊急時対策所用発電機車用給油ポンプ上部配管室 (1,2号機共用)	壁	250 (注1)	鉄筋	コンクリート	
通路 (屋外4) (1,2号機共用)	火災区域 (区画) 名称	火災区域 (区画)	TSC4-8	通路 (屋外4) (1,2号機共用)	壁	250 (注1)	鉄筋	コンクリート	
A 緊急時対策所用発電機車用燃料油貯蔵タンク室 (1,2号機共用)	火災区域 (区画) 名称	火災区域 (区画)	TSC4-9	A 緊急時対策所用発電機車用燃料油貯蔵タンク室 (1,2号機共用)	壁	250 (注1)	鉄筋	コンクリート	
B 緊急時対策所用発電機車用燃料油貯蔵タンク室 (1,2号機共用)	火災区域 (区画) 名称	火災区域 (区画)	TSC4-10	B 緊急時対策所用発電機車用燃料油貯蔵タンク室 (1,2号機共用)	壁	250 (注1)	鉄筋	コンクリート	
A 緊急時対策所用発電機車用給油ポンプ室 (1,2号機共用)	火災区域 (区画) 名称	火災区域 (区画)	TSC4-11	A 緊急時対策所用発電機車用給油ポンプ室 (1,2号機共用)	壁	250 (注1)	鉄筋	コンクリート	
B 緊急時対策所用発電機車用給油ポンプ室 (1,2号機共用)	火災区域 (区画) 名称	火災区域 (区画)	TSC4-12	B 緊急時対策所用発電機車用給油ポンプ室 (1,2号機共用)	壁	250 (注1)	鉄筋	コンクリート	

(注1) 公称値のうち最小のものを示す。

令和3年11月4日

別添1 (4/4)

・緊急時対策棟屋外地下エリア (燃料設備トレンチ)

変 更 前					変 更 後								
名	火災区域 (区画) 名称	区 分	番 号	種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名	火災区域 (区画) 名称	区 分	番 号	種 類	主要寸法 (mm)	材 料
							緊急時対策棟屋外地下エリア (燃料設備トレンチ) (1,2号機共用)	火災区画	TSC4-13		壁	500 (注1)	鉄筋 コンクリート

(注1) 公称値のうち最小のものを示す。

九州電力株式会社
川内原子力発電所第1号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第2003197号99

成績書管理番号：10

令和3年11月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：10

- 1 発電所名 九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和 3年 9月 15日
至 令和 3年 11月 2日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	原発本第224号(令和2年3月19日) 原発本第26号(令和2年4月7日) 原発本第108号(令和3年9月30日)
--------------------	---

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：10

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和3年 9月15日 16日	良	須貝 実 平沢 淳	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：10

検査年月日：令和3年9月15日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良 ー	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良 ー	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良 ー	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：10

検査年月日：令和 3 年 9 月 15 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会 ◎記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：10

検査年月日：令和 3 年 9 月 15 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 消火設備 容器 (常設) 主配管 (常設) (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 容量確認検査 通気検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、 所定の性能を有しており、 技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録 (※) による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN1-5-84-02-b (1) ・目視で確認した範囲：添付資料 3-3 参照			

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査) (立会検査)

成績書管理番号: 10

検査年月日: 令和 3 年 9 月 16 日

検査場所: 九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
弁 1V-GF-630 ~ 指揮所(1) (1, 2号機共用)	通気検査	-	良	目視 [*]
備考 * 別添2の範囲について実施。				

その他発電用原子炉の附属施設
4 火災防護設備

- 2 消火設備に係る次の事項
(2) 容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・常設

変 更 後		変 更 前	
名	ハロンボンベ (緊急時対策棟用) (1.2号機共用)		
種	鋼製容器		
容	68 以上 (注1)		
最 高 使 用 圧 力	5.2		
最 高 使 用 温 度	40		
主 要 寸 法	外 径	268.0 (注1)	
	高 さ	1,500 (注1)	
	胴 部 厚 さ	5.9 (7.0 (注1))	
	底 部 厚 さ	12.0 (12.0 (注1))	
材 質	SMn438		
個 数	17		
取 付 系 統 名	ハロン消火系統		
取 付 設 置 床	緊急時対策棟 (指揮所) [EL.37.3m : 17本 (注2)]		
取 付 溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			
取 付 溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ			

(注1) 公称値

(注2) ボンベラックNo.IGFET-1: 8本、ボンベラックNo.IGFET-2: 8本、ボンベラックNo.IGFET-3: 1本

5 主配管
・常設

変更前		変更後					
名	称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
消火設備	ハロンボンベ (1GFET-1, 1GFET-2, 1GFET-3) ~ 弁 IV-GF-630, 631, 632, 633, 634, 640, 641 (連絡管を含む) (1,2号機共用)	5.2	40	(注2) 34.0	(注2) 3.4	SUS304TP	
				(注2) 48.6	(注2) 3.7		
				(注2) 60.5	(注2) 3.9		
				(注2) 76.3	(注2) 5.2		
				(注2) 89.1	(注2) 5.5		
				(注2) 76.3	(注2) 5.2		
	消火設備	弁 IV-GF-630 ~ 指揮所 (1) (1,2号機共用)	5.2	40	(注2) 27.2	(注2) 2.9	SUS304TP
					(注2) 34.0	(注2) 3.4	
					(注2) 48.6	(注2) 3.7	
					(注2) 60.5	(注2) 3.9	
					(注2) 76.3	(注2) 5.2	
					(注2) 76.3	(注2) 5.2	
消火設備	弁 IV-GF-631 ~ 通路 (1階3) ~ トイレ (1,2号機共用)	5.2	40	(注2) 27.2	(注2) 2.9	SUS304TP	
				(注2) 34.0	(注2) 3.4		
				(注2) 48.6	(注2) 3.7		
				(注2) 60.5	(注2) 3.9		
				(注2) 76.3	(注2) 5.2		
				(注2) 76.3	(注2) 5.2		

変 更 前		変 更 後				
名	称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材 料
消火設備	出入管理エリア 供給ライン分岐点 ~ 出入管理エリア (1,2号機共用)	5.2	40	(注2) 48.6	(注2) 3.7	SUS304TP
				(注2) 60.5	(注2) 3.9	
	指揮所 (2) 供給ライン分岐点 ~ 指揮所 (2) (1,2号機共用)	5.2	40	(注2) 48.6	(注2) 3.7	SUS304TP
				(注2) 48.6	(注2) 3.7	
	弁 1V-GF-632 ~ 通路 (2階2) ~ 空調機械室 (2) (1,2号機共用)	5.2	40	(注2) 48.6	(注2) 3.7	SUS304TP
				(注2) 76.3	(注2) 5.2	
				(注2) 89.1	(注2) 5.5	
	通信機械室 (1) 供給ライン分岐点 ~ 通信機械室 (1) (1,2号機共用)	5.2	40	(注2) 60.5	(注2) 3.9	SUS304TP
				(注2) 60.5	(注2) 3.9	
	通信機械室 (2) 供給ライン分岐点 ~ 空調機械室 (1) ~ 通信機械室 (2) (1,2号機共用)	5.2	40	(注2) 48.6	(注2) 3.7	SUS304TP
				(注2) 48.6	(注2) 3.7	

消火設備

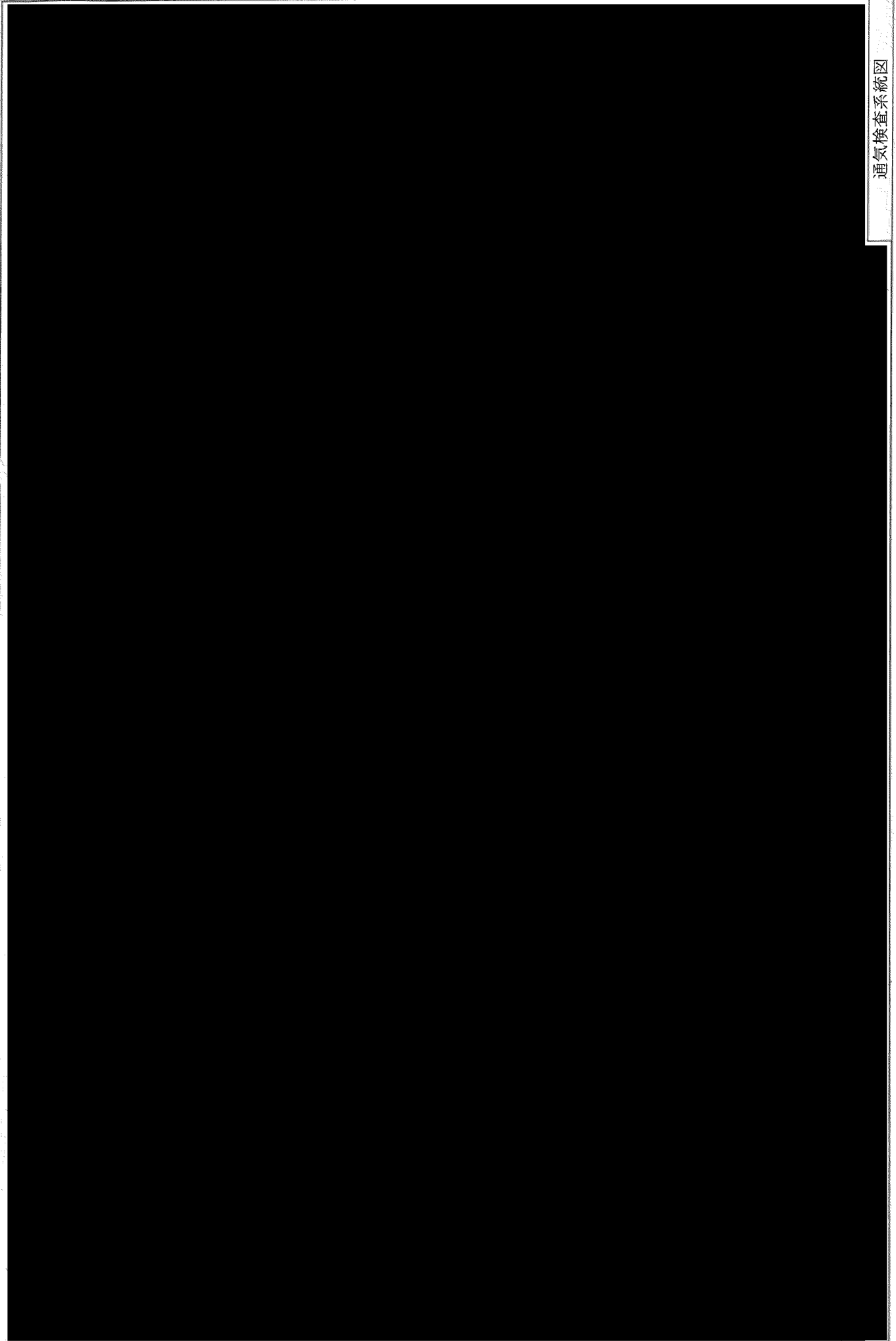
変更前				変更後			
名	称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材 料	名
消火設備	弁 1V-GF-633 ~ 通路 (2階1) ~ 緊急時対策所非常用 空気浄化ファイン室 (1,2号機共用)	5.2	40	(注2)	34.0	SUS304TP	
				(注2)	48.6		
				(注2)	60.5		
	蓄電池室供給ライン 分岐点 ~ 蓄電池室 (1,2号機共用)	5.2	40	(注2)	48.6	SUS304TP	
				(注2)	3.7		
	弁 1V-GF-634 ~ 電気計装用電源機械室 (1,2号機共用)	5.2	40	(注2)	89.1	SUS304TP	
				(注2)	5.5		
	弁 1V-GF-640 ~ 配線スペース (2階2) ~ 配線スペース (1階) (1,2号機共用)	5.2	40	(注2)	27.2	SUS304TP	
				(注2)	2.9		
				(注2)	34.0		
	弁 1V-GF-641 ~ 配線スペース (2階1) (1,2号機共用)	5.2	40	(注2)	27.2	SUS304TP	
				(注2)	2.9		
				(注2)	34.0		

(注1) 本設備は、既存の設備である。

(注2) 公称値

消火設備

通気検査系統図



検査結果一覧表

成績書管理番号：10

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和3年 11月 2日	良	永穂 隆人 平沢 淳	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

九州電力株式会社川内原子力発電所第 1 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：10

検査年月日：令和 3 年 11 月 2 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：10

検査年月日： 令和3年 11月 2日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・◎	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録（五号検査）

成績書管理番号：10

検査年月日：令和3年 11月 2日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象

その他発電用原子炉の附属施設

火災防護設備

消火設備

主配管（常設）（別添1参照）

検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 通水検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	・ 目視 記録確認

備考

・ 記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。

※ 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN1-5-84-02-b（2）

4 火災防護設備
2 消火設備

(5) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料（常設及び可搬型の別に記載し、可搬型の場合は、個数及び取付箇所を付記すること。）

・常設

名	変 更 前				変 更 後								
	称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
消火ポンプ出口ヘッダ ～ 保管エリア供給ライン 分岐点 (1,2号機共用)		1.4	40	(注2) 216.3	(注2) 6.5	SUS304TP			40				
				(注2) 267.4	(注2) 6.5								
				(注2) 267.4	(注2) 9.3								
保管エリア供給ライン 分岐点 ～ 緊急時対策棟供給ライ ン分岐点 (1,2号機共用)		1.4	40	(注2) 114.3	(注2) 4.0	SUS304TP			40				
				(注2) 114.3	(注2) 6.0								
消 火 設 備													
消 火 設 備													
緊急時対策棟供給ライン 分岐点 ～ 緊急時対策棟入口第1分 岐点 (1,2号機共用)							1.4		40		(注2) 76.3	(注2) 3.5	SUS304TP
											(注2) 76.3	(注2) 5.2	STPG370
											(注1) 114.3 (注2)	(注1) 4.0 (注2)	SUS304TP
											(注2) 114.3	(注2) 4.0	

九州電力株式会社
川内原子力発電所第1号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第2003197号99

成績書管理番号：11

令和3年11月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：11

- 1 発電所名 九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和3年7月29日
至 令和3年11月25日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	原発本第224号 (令和2年3月19日) 原発本第26号 (令和2年4月7日) 原発本第108号 (令和3年4月30日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：111

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和3年 7月29日	良	守野正登	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

九州電力株式会社川内原子力発電所第 1 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：11

検査年月日：令和 3 年 7 月 29 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (※号検査)

R3.10.6修正 宇野 五

成績書管理番号：11

検査年月日：令和 3 年 7 月 29 日



検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良・—	

検査結果一覧表

成績書管理番号：11

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
<p>令和3年 9月15日</p>	<p>良</p>	<p>須貝 実 平沢 淳</p>	<p>発電用原子炉 主任技術者  ボイラー・タービン主任技術者 </p>	<p>なし</p>

九州電力株式会社川内原子力発電所第 1 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：11

検査年月日：令和 3 年 9 月 15 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：11

検査年月日：令和 3年 9月 15日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良・—	

検査結果一覧表

成績書管理番号：111

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和3年 9月29日	良	宇野正登 平沢淳	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

九州電力株式会社川内原子力発電所第 1 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：11

検査年月日：令和 3 年 9 月 29 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：11

検査年月日：令和3年9月29日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：11

検査年月日：令和3年9月29日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
総合設備検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 			
※ 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN1-1-81-02-j			

検査結果一覧表

成績書管理番号：111

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和3年 10月6日	良	宇野正登 須貝実	発電用原子炉主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

九州電力株式会社川内原子力発電所第 1 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：11

検査年月日：令和 3 年 10 月 6 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：11

検査年月日：令和3年10月6日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・☹	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・☹	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：11

検査年月日： 令和3年10月6日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象			
放射線管理施設 (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
総合設備検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考			
<ul style="list-style-type: none"> 記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN1-1-06-01-b			

検査結果一覧表

成績書管理番号：111

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
<p>令和3年 10月12日 13</p>	<p>良</p>	<p>吉村直樹 平沢 淳</p>	<p>発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]</p>	<p>なし</p>

九州電力株式会社川内原子力発電所第 1 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：11

検査年月日：令和 3 年 10 月 12 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良 —	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良 —	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良 —	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：11

検査年月日：令和 3 年 10 月 13 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良・—	

検査結果一覧表

成績書管理番号：11

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和3年 10月19日 20	良	須貝 実 平沢 淳	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

九州電力株式会社川内原子力発電所第 1 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：11

検査年月日：令和 3 年 10 月 19 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号: 11

検査年月日: 令和 3 年 10 月 19 日

検査場所: 九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
システム構成が完了していること。 ※	立会/ ◎記録確認	◎良・—	

※: システム構成については、緊急時対策所用発電機車用給油ポンプに対する検査
について確認した。

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：11

検査年月日：令和 3 年 10 月 19 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象

放射線管理施設

緊急時対策所非常用空気浄化ファン
(別添1参照)

検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
総合設備検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認

備考

・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。

※ 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN1-1-06-02-h

QSN1-1-90-02-c

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：11

検査年月日：令和3年10月20日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象			
附 R3.11.5修正 その他発電用原子炉の属設備 宇野 緊急時対策所発電機車用給油ポンプ (別添1参照) 用 R3.11.4追記 宇野			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
総合設備検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 <u>記録確認</u>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN1-1-81-02-i QSN1-1-90-02-c			

検査結果一覧表

成績書管理番号：111

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和3年 10月28日	良	須貝 実 平沢 淳	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted] 電気主任技術者 [Redacted]	なし

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：11

検査年月日：令和3年10月28日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：11

検査年月日：令和3年10月28日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号: 11

検査年月日: 令和 3 年 10 月 28 日

検査場所: 九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
総合設備検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号: QSN1-1-81-02-k			

検査結果一覧表

成績書管理番号：11

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和3年 11月2日	良	榎市隆人 平沢 浩	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

九州電力株式会社川内原子力発電所第 1 号機
使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：11

検査年月日： 令和 3 年 11 月 2 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・一	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：11

検査年月日： 令和3年 11月 2日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：11

検査年月日： 令和3年 11月 2日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
総合設備検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN1-1-84-02-c(2)			

検査結果一覧表

成績書管理番号：11

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会い責任者	特記事項
令和3年 11月25日	良	上田 洋 種子 隆人 須貝 実	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：11

検査年月日：令和3年11月25日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号: 11

検査年月日: 令和3年11月25日

検査場所: 九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・⊖	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・⊖	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：11

検査年月日：令和3年11月25日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
総合設備検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考			
<ul style="list-style-type: none"> 記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN1-5-04-06-b			

川内原子力発電所第1号機 緊急時対策棟
総合設備検査 検査対象一覧表

計測制御系統施設

検査対象	検査項目	検査日
計測装置 原子炉補機冷却設備に係る容器内の圧力又は水位を計測する装置 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (SA) (1, 2号機共用) 1個 (予備2)	保管場所確認検査	R3. 11. 25
計測装置 圧力低減設備その他の安全設備に係る熱交換器の入口又は出口の温度を計測する装置 格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度 (SA) (1, 2号機共用) 4個 (予備4)	保管場所確認検査	R3. 11. 25

放射線管理施設

検査対象	検査項目	検査日
放射線管理用計測装置 エリアモニタリング設備 緊急時対策所の線量当量率を計測する装置 緊急時対策所エリアモニタ (1, 2号機共用) 2個 (予備1)	外観検査	R3. 10. 6
	保管場所確認検査	
	取付箇所確認検査	
放射線管理用計測装置 移動式周辺モニタリング設備 可搬型モニタリングポスト (1, 2号機共用) 5個 (予備1)	外観検査	R3. 10. 6
	保管場所確認検査	
	取付箇所確認検査	
放射線管理用計測装置 移動式周辺モニタリング設備 可搬型エリアモニタ (1, 2号機共用) 8個 (予備1)	外観検査	R3. 10. 6
	保管場所確認検査	
	取付箇所確認検査	
放射線管理用計測装置 移動式周辺モニタリング設備 電離箱サーベイメータ (1, 2号機共用) 2個 (予備1)	外観検査	R3. 10. 6
	保管場所確認検査	
放射線管理用計測装置 移動式周辺モニタリング設備 NaIシンチレーションサーベイメータ (1, 2号機共用) 2個 (予備1)	外観検査	R3. 10. 6
	保管場所確認検査	
放射線管理用計測装置 移動式周辺モニタリング設備 GM汚染サーベイメータ (1, 2号機共用) 2個 (予備1)	外観検査	R3. 10. 6
	保管場所確認検査	
放射線管理用計測装置 移動式周辺モニタリング設備 ZnSシンチレーションサーベイメータ (1, 2号機共用) 1個 (予備1)	外観検査	R3. 10. 6
	保管場所確認検査	
放射線管理用計測装置 移動式周辺モニタリング設備 β線サーベイメータ (1, 2号機共用) 1個 (予備1)	外観検査	R3. 10. 6
	保管場所確認検査	

放射線管理施設

検査対象	検査項目	検査日
換気設備 容器 空気ポンベ（緊急時対策所用）（1, 2号機共用） 1400個（予備280）	材料検査	R3. 10. 12
	寸法検査	
	外観検査	
	耐圧検査、漏えい検査	
	保管場所確認検査	
	取付箇所確認検査	
換気設備 主配管 空気ポンベ（緊急時対策所用）～緊急時対策所 加圧ラインボンベラックマニホールド上流閉止 端及び緊急時対策所加圧ラインボンベラックマ ニホールド下流止弁（1, 2号機共用） 10個（予備2）	材料検査	R3. 10. 13
	寸法検査	
	外観検査	
	耐圧検査、漏えい検査	
	保管場所確認検査	
	取付箇所確認検査	
換気設備 主配管 空気ポンベ（緊急時対策所用）～緊急時対策所 加圧ラインボンベラックマニホールド上流止弁 及び緊急時対策所加圧ラインボンベラックマ ニホールド下流止弁（1, 2号機共用） 60個（予備12）	材料検査	R3. 10. 13
	寸法検査	
	外観検査	
	耐圧検査、漏えい検査	
	保管場所確認検査	
	取付箇所確認検査	
換気設備 主配管 緊急時対策所加圧ラインボンベラックマニホー ルド下流止弁～緊急時対策所加圧ラインボンベ ラック恒設配管接続フレキシブルホース入口 接続口（1, 2号機共用） 10個（予備2）	材料検査	R3. 10. 13
	寸法検査	
	外観検査	
	耐圧検査、漏えい検査	
	保管場所確認検査	
	取付箇所確認検査	
換気設備 主配管 緊急時対策所加圧ラインボンベラック間 フレキシブルホース（1, 2号機共用） 60個（予備12）	材料検査	R3. 10. 13
	寸法検査	
	外観検査	
	耐圧検査、漏えい検査	
	保管場所確認検査	
	取付箇所確認検査	
換気設備 主配管 緊急時対策所加圧ラインボンベラック恒設配管 接続フレキシブルホース（1, 2号機共用） 10個（予備2）	材料検査	R3. 10. 13
	寸法検査	
	外観検査	
	耐圧検査、漏えい検査	
	保管場所確認検査	
	取付箇所確認検査	
換気設備 送風機 緊急時対策所非常用空気浄化ファン （1, 2号機共用）2個	寸法検査	R3. 10. 19
	取付箇所確認検査	

その他発電用原子炉の附属施設

検査対象	検査項目	検査日
非常用電源設備 非常用発電装置 内燃機関 機関 緊急時対策所用発電機車内燃機関 (1, 2号機共用) 1個/台	取付箇所確認検査	R3. 10. 28
非常用電源設備 非常用発電装置 内燃機関 内燃機関に附属する冷却水設備 緊急時対策所用発電機車冷却水ポンプ (1, 2号機共用) 1個/台	取付箇所確認検査	R3. 10. 28
非常用電源設備 非常用発電装置 内燃機関 燃料デイトンク又はサービスタンク 緊急時対策所用発電機車燃料油サービスタンク (1, 2号機共用) 1個/台	材料検査	R3. 10. 28
	寸法検査	
	耐圧検査、漏えい検査	
	取付箇所確認検査	
非常用電源設備 非常用発電装置 燃料設備 ポンプ 緊急時対策所用発電機車用給油ポンプ (1, 2号機共用) 2個	材料検査	R3. 10. 20
	寸法検査	
	外観検査	
	組立て及び据付け状態を確認する検査	
	耐圧検査、漏えい検査	
	取付箇所確認検査	
非常用電源設備 非常用発電装置 燃料設備 容器 緊急時対策所用発電機車用燃料油貯蔵タンク (1, 2号機共用) 2個	材料検査	R3. 7. 29
	寸法検査	
	外観検査	
	組立て及び据付け状態を確認する検査	
	耐圧検査、漏えい検査	
非常用電源設備 非常用発電装置 燃料設備 主配管 緊急時対策所用発電機車用燃料油貯蔵タンク ～緊急時対策所用発電機車用給油ポンプ (1, 2号機共用)	材料検査	R3. 7. 29
	寸法検査	
	外観検査	
	組立て及び据付け状態を確認する検査	
	耐圧検査、漏えい検査	
非常用電源設備 非常用発電装置 燃料設備 主配管 緊急時対策所用発電機車用給油ポンプ ～緊急時対策所用発電機車用給油ライン 取合用接続口(1, 2号機共用)	材料検査	R3. 7. 29
	寸法検査	
	外観検査	
	組立て及び据付け状態を確認する検査	
	耐圧検査、漏えい検査	

その他発電用原子炉の附属施設

検査対象	検査項目	検査日
非常用電源設備 非常用発電装置 燃料設備 主配管 緊急時対策所用発電機車用給油ライン取合用 接続口～緊急時対策所用発電機車用給油ライ ン取合用フレキシブルホース入口接続口 (1, 2号機共用) 1個 (予備2)	材料検査	R3. 9. 29
	寸法検査	
	外観検査	
	耐圧検査、漏えい検査	
	保管場所確認検査	
	取付箇所確認検査	
非常用電源設備 非常用発電装置 燃料設備 主配管 緊急時対策所用発電機車用給油ライン取合用 フレキシブルホース (1, 2号機共用) 1個 (予備2)	材料検査	R3. 9. 29
	寸法検査	
	外観検査	
	耐圧検査、漏えい検査	
	保管場所確認検査	
	取付箇所確認検査	
非常用電源設備 非常用発電装置 燃料設備 主配管 緊急時対策所用発電機車用給油ライン取合用 フレキシブルホース出口接続口～緊急時対策 所用発電機車燃料油サービスタンク接続口 (1, 2号機共用) 1個 (予備2)	材料検査	R3. 9. 29
	寸法検査	
	外観検査	
	耐圧検査、漏えい検査	
	保管場所確認検査	
	取付箇所確認検査	
非常用電源設備 非常用発電装置 発電機 発電機 緊急時対策所用発電機車 (1, 2号機共用) 1個 (予備2)	寸法検査	R3. 10. 28
	保管場所確認検査	
	取付箇所確認検査	
非常用電源設備 非常用発電装置 発電機 励磁装置 緊急時対策所用発電機車励磁装置 (1, 2号機共用) 1個/台	取付箇所確認検査	R3. 10. 28
火災防護設備 消火設備 容器 ハロンボンベ (緊急時対策棟用) (1, 2号機共用) 17個	材料検査	R3. 9. 15
	寸法検査	
	外観検査	
	組立て及び据付け状態を確認する検査	
	耐圧検査、漏えい検査	
火災防護設備 消火設備 主配管 緊急時対策棟供給ライン分岐点～緊急時対策棟 入口第1分岐点 (1, 2号機共用)	材料検査	R3. 11. 2
	寸法検査	
	外観検査	
	組立て及び据付け状態を確認する検査	
	耐圧検査、漏えい検査	

その他発電用原子炉の附属施設

検査対象	検査項目	検査日
火災防護設備 消火設備 主配管 ハロンボンベ(1GFET-1, 1GFET-2, 1GFET-3) ～弁1V-GF-630, 631, 632, 633, 634, 640, 641 (連絡管を含む) (1, 2号機共用)	材料検査	R3. 9. 15
	寸法検査	
	外観検査	
	組立て及び据付け状態を確認する検査	
	耐圧検査、漏えい検査	
火災防護設備 消火設備 主配管 弁1V-GF-630～指揮所(1) (1, 2号機共用)	材料検査	R3. 9. 15
	寸法検査	
	外観検査	
	組立て及び据付け状態を確認する検査	
	耐圧検査、漏えい検査	
火災防護設備 消火設備 主配管 弁1V-GF-631～通路(1階3) ～トイレ (1, 2号機共用)	材料検査	R3. 9. 15
	寸法検査	
	外観検査	
	組立て及び据付け状態を確認する検査	
	耐圧検査、漏えい検査	
火災防護設備 消火設備 主配管 出入管理エリア供給ライン分岐点 ～出入管理エリア (1, 2号機共用)	材料検査	R3. 9. 15
	寸法検査	
	外観検査	
	組立て及び据付け状態を確認する検査	
	耐圧検査、漏えい検査	
火災防護設備 消火設備 主配管 指揮所(2)供給ライン分岐点 ～指揮所(2) (1, 2号機共用)	材料検査	R3. 9. 15
	寸法検査	
	外観検査	
	組立て及び据付け状態を確認する検査	
	耐圧検査、漏えい検査	
火災防護設備 消火設備 主配管 弁1V-GF-632～通路(2階2) ～空調機械室(2) (1, 2号機共用)	材料検査	R3. 9. 15
	寸法検査	
	外観検査	
	組立て及び据付け状態を確認する検査	
	耐圧検査、漏えい検査	
火災防護設備 消火設備 主配管 通信機械室(1)供給ライン分岐点 ～通信機械室(1) (1, 2号機共用)	材料検査	R3. 9. 15
	寸法検査	
	外観検査	
	組立て及び据付け状態を確認する検査	
	耐圧検査、漏えい検査	

その他発電用原子炉の附属施設

検査対象	検査項目	検査日
火災防護設備 消火設備 主配管 通信機械室(2)供給ライン分岐点 ～空調機械室(1)～通信機械室(2) (1,2号機共用)	材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査 耐圧検査、漏えい検査	R3.9.15
火災防護設備 消火設備 主配管 弁1V-GF-633～通路(2階1) ～緊急時対策所非常用空気浄化ファン室 (1,2号機共用)	材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査 耐圧検査、漏えい検査	R3.9.15
火災防護設備 消火設備 主配管 蓄電池室供給ライン分岐点～蓄電池室 (1,2号機共用)	材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査 耐圧検査、漏えい検査	R3.9.15
火災防護設備 消火設備 主配管 弁1V-GF-634～電気計装用電源機械室 (1,2号機共用)	材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査 耐圧検査、漏えい検査	R3.9.15
火災防護設備 消火設備 主配管 弁1V-GF-640～配線スペース(2階2) ～配線スペース(1階) (1,2号機共用)	材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査 耐圧検査、漏えい検査	R3.9.15
火災防護設備 消火設備 主配管 弁1V-GF-641～配線スペース(2階1) (1,2号機共用)	材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査 耐圧検査、漏えい検査	R3.9.15